

第3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

(ア) 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。
- ・助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分		予算額		申請実績		交付実績	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
研究助成	一般	4	4,600	13	14,113	5	4,865
	奨励	2	600	0	0	0	0
出版助成		8	9,600	11	14,453	6	7,756
合 計		14	14,800	24	28,566	11	12,621

(イ) 研究成果集

・登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 員	廣野 洋	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員長
委 員	笹倉いる美	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	出利葉浩司	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	阿部 一司	アイヌ民族文化財団事業運営委員
委 員	持田 誠	アイヌ民族文化財団事業運営委員

・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
6月14日（金）～ 9月13日（金）	6件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行う。

・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第19号	1月	900	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体、研究機関

## II アイヌ語の振興

### 1 アイヌ語教育事業

#### ① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

##### (ア) 講師一覧

氏名	摘要
北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
作田 悟	令和元年度伝承者育成事業講師（アイヌ語）
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授
志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
中川 裕	千葉大学千葉大学文学部教授 ※フォローアップ講座のみ参加
八谷 麻衣	令和元年度伝承者育成事業講師（アイヌ語）

アイヌ民族文化財団職員（民族共生象徴空間運営本部）

中井 貴規	国立アイヌ民族博物館研究学芸部・資料情報室 研究員
山丸 賢雄	文化振興部・体験教育課 主事

##### (イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
5月17日（金）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室	・令和元年度の指導方針について ・フォローアップ・カリキュラム案の作成
10月12日（土）	千歳エアポートホテル 会議室	・第2回スクーリング・カリキュラム案の作成
11月 9日（土）	千歳エアポートホテル 会議室	・第3回スクーリング・カリキュラム案の作成
2月26日（水）	北海道中小企業会館 会議室E	・令和元年度フォローアップ及び第11期スクーリングの総括 ・令和2年度実施日程及び会場について ・第12期スクーリング受講生の募集について ・アイヌ語指導者育成事業の講師について

##### (ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
10月11日（金）～13日（日）	千歳エアポートホテル会議室	阿部 一、萱野公裕、 葛野大喜、篠田マナ、 関根摩耶、早坂 駿、 米澤 諒
11月 8日（金）～10日（日）	千歳エアポートホテル会議室	
12月 6日（金）～ 8日（日）	千歳エアポートホテル会議室	

##### (エ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
7月 5日（金）～ 7月 7日（日）	旭川市民生活館	大須賀るえ子、小川 早苗、加納ルミ子、 川村 久恵、工藤 小夜、関根 健司、 八重樫正恵

## ② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	14	4月27日(土)～2月22日(土)	11
浦河	関根 健司	4	7月29日(月)～12月17日(火)	12
札幌	澤井 アク	5	9月19日(木)～11月27日(水)	12
白老	大須賀るえ子	4	6月2日(日)～8月25日(日)	12
白糠	藤村 久和	5	6月7日(金)～9月22日(日)	12
阿寒	藤村 久和	5	11月8日(金)～2月22日(土)	12
帯広	安藤日出道	5	11月6日(水)～2月6日(木)	12

## ③ 初級講座

### (a) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	瀧口 夕美	2家族 4名	4月13日(土)～2月22日(土)	21

### (b) アイヌ語入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	多原 良子	19	6月15日(土)～12月7日(土)	20
東京	成田 英敏	29	5月8日(水)～2月26日(水)	19
白老	山丸 賢雄	49	6月7日(金)～1月24日(金)	19
釧路	奥田 幸子	32	6月6日(木)～11月28日(木)	20

## 2 アイヌ語普及事業

### ① ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をSTVラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

#### (ア) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
STVラジオ	本放送：毎週日曜日 あさ7:00～7:15 再放送：毎週土曜日 よる11:45～12:00	瀧口 夕美

(イ) テキスト

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
令和元年度Vol.2 (7月～9月放送分)	6月	3,500	S T V、道内市町村教育委員会、アイヌ協会、各地域アイヌ協会 他
令和元年度Vol.3 (10月～12月放送分)	9月	3,500	
令和元年度Vol.4 (1月～3月放送分)	12月	3,500	
令和2年度Vol.1 (4月～6月放送分)	3月	3,500	

(ウ) 収録

令和元年度第4回放送分から令和2年度第5回放送分まで

(エ) アイヌ語ラジオ講座検討委員会

・検討委員一覧

氏 名	摘 要
石田 勝也	札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース講師
北原モコトナツ	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授
関根 健司	平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員補
中川 裕	千葉大学千葉大学文学部教授
中田美知子	札幌大学客員教授 元AIR' G常務取締役・フリーアナウンサー

- ・開催日 6月14日(金)
- ・場 所 アイヌ民族文化財団 札幌会議室
- ・協議事項 新規発信方法等検討

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(ア) 開催日時

11月23日(土・祝) 10:00～16:00

(イ) 開催場所

千歳市北ガス文化ホール 中ホール(千歳市北栄2丁目2番11号)

(ウ) 出場者

募集期間 6月27日(木)～9月30日(月)

区 分	発表内容	出場者数
子供の部	自由	6組14名
大人の部	口承文芸部門	英雄叙事詩、神謡、昔話など
	弁論部門	自由
口演の部	自由	6組9名

(エ) 審査委員

区 分	氏 名
審査委員長	丸子美記子
審査委員	大須賀るえ子、岡田 路明、関根 健司

(オ) 表彰

区 分		発表内容	表彰者
最優秀賞	子どもの部	自由	新見さくら（東京都）
	大人の部	口承文芸部門 弁論部門	中村 勝信（千歳市） 該当者なし
優秀賞	子どもの部	自由	佐藤 千愛（千葉県）、 東京へカッタラ（東京都/千葉県/神奈川県）
	大人の部	口承文芸部門	米澤 諒（白老町）、篠田 マナ（白老町）、 井澤美恵子（平取町）
		弁論部門	本間 大祐（中国北京市）

(カ) その他

出場者募集ポスター	:	900 枚（5月作成）
出場者募集チラシ	:	3,500 枚（5月作成）
来場者募集チラシ	:	5,200 枚（10月作成）
プログラムの作成	:	250 部（11月作成）
報告集の作成	:	800 部（3月作成）

### Ⅲ アイヌ文化の振興

#### 1 アイヌ文化伝承再生事業

##### ① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあるが、その製作技術や儀礼などが失われつつある。このため、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」、工芸品等の製作の様子や伝承活動を紹介する「アイヌ文化伝承活動アーカイブス」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
活字マニュアル「捧酒箸【イクパスイ】」	9月	320	博物館、図書館、各アイヌ協会、アイヌ関係団体など
映像マニュアル「料理【平取地方】」	2月	350	
アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol.4	2月	1,000	

##### ② 実践上級講座

###### (a) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
浦 河	太田 満	2	7月19日（金）～11月 9日（土）	13
札 幌	結城 幸司	5	6月13日（木）～ 7月30日（火）	15
平 取	木幡サチ子	5	6月 4日（火）～11月22日（金）	15
むかわ	大森きよ子	5	6月 3日（月）～10月14日（月）	15

(b) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講 師	受講者数	開催期間	開催回数
長万部	刺繍	三原久美子	11	6月19日（水）～ 1月 8日（水）	12
八 雲	刺繍	三原久美子	8	6月28日（金）～ 1月24日（金）	12
伊 達	刺繍	山崎シマ子	14	9月 5日（木）～10月18日（金）	12
釧 路	刺繍	桃井 芳子	12	7月30日（火）～ 1月15日（水）	12
本 別	刺繍	山本 栄子	5	6月10日（月）～ 9月10日（火）	12
登 別	刺繍	芳賀美津枝	15	8月 2日（金）～10月24日（木）	12
白 糠	刺繍	桃井 芳子	3	6月30日（日）～ 2月 9日（日）	12
阿 寒	刺繍	加藤シヅエ	15	11月 5日（火）～12月 5日（木）	12
白 老	刺繍	山崎シマ子	10	6月 8日（土）～10月15日（火）	12
白 老	刺繍	岡田 育子	11	7月29日（月）～11月25日（月）	12
浦 幌	刺繍	廣川 和子	5	6月19日（水）～ 9月11日（水）	12
帯 広	編物	吉根とみ子	11	11月 2日（土）～ 2月 8日（土）	12
幕 別	編物	早坂 ユカ	7	11月22日（金）～ 2月22日（土）	12
むかわ	木彫	尾崎 剛	12	9月24日（火）～10月30日（水）	12
平 取	木彫	洲崎 春男	7	9月30日（月）～ 2月 3日（月）	12
浦 幌	木彫	清水 勇	8	6月13日（木）～ 7月19日（金）	12
苫小牧	木彫	高野 繁廣	14	7月10日（水）～10月23日（水）	12
芽 室	木彫	吉根 憲一	11	7月14日（日）～ 2月23日（日）	12
札 幌	舞踊	早坂 ユカ	15	6月 7日（金）～10月11日（金）	12
帯 広	舞踊	酒井奈々子	15	6月 9日（日）～11月24日（日）	12
札 幌	舞踊	中村 幸子	12	6月 3日（月）～ 8月19日（月）	12
	木彫	早坂 雅賀	13	6月 4日（火）～11月12日（火）	12
	編物	貝澤 竹子	4	6月19日（水）～ 9月11日（水）	12
東 京	刺繍	澤 節子	19	4月28日（日）～ 2月23日（日）	11
	音楽	千葉 伸彦	12	6月 2日（日）～ 3月 1日（日）	9
	舞踊	平田 幸	12	6月 2日（日）～ 3月 1日（日）	9

(c) 成果発表会の開催

(7) 審査委員

役職名	氏 名	摘 要
委 員	高野 啓子	伝統工芸家
委 員	星野 工	木彫家

## (イ) 審査会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
1月10日（金）	千代田区立日比谷図書文化館	46点	一次審査～二次審査

## (ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	1月11日（土）	千代田区立日比谷図書文化館	99名
展示	1月10日（金）～12日（日）		

## (エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部 門	作品名
優秀賞	丸子美記子	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	テタラペ
	鴨井千代子	その他の伝統的作品部門	エムシアッ
入 選	島田あけみ	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	カパラミプ
	弓野 恵子	アイヌ文化に関する一般作品部門	タペストリー
奨励賞	佐藤 佳子	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	カパラミプ
	大空ひとみ	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	カパラミプ

## ③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	12,900	58	20,722	31	11,280

## ④ 口承文芸視聴覚資料作成事業

平成24年度から29年度の6年間で製作したアニメーション映像に対し、他言語に翻訳した字幕を追加することで、来日外国人や諸外国でアイヌの無形文化を紹介できる資料として用いると共に、他言語圏でのアイヌ文化入門教材として活用することで、アイヌ文化の振興を図った。

タイトル	作成時期	作成数	内 容
「Oruspe Swop 4-6」	3月	各300	既存アニメーションDVDの多言語化（英語、韓国語、中国語）作成

## ⑤ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,750	4	795	4	675

## 2 アイヌ文化交流事業

### ① アイヌ文化交流事業

#### (a) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解の促進を図った。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	25	25,000	94	52,221	77	37,189
道外実施	11	16,500	7	7,334	4	3,863
合 計	36	41,500	101	59,555	81	41,052

#### \*実施状況の現地確認

財団職員が、現地に出向き助成事業の実施状況を確認した。

件数 11事業、派遣者数 12人

#### (b) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

#### (7) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

#### (4) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

#### (ウ) 助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	4	4,800	4	4,995	2	708
招聘事業	2	800	1	1,000	0	0
合 計	6	5,600	5	5,995	2	708

### ② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を直接学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

#### (7) ニュージーランド研修

- ・募集期間 7月22日（月）～9月13日（金）
- ・応募者数 23名      ・選考結果10名

- ・事前研修（研修生10名 事務局3名、関根健司）

実施日	場 所
12月7日（土）～ 8日（日）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室

- ・海外研修（研修生9名 事務局2名、関根健司、通訳1名）

実施日	交流先
2月23日（日）～ 28日（金）	ニュージーランド（ウェリントン、ムルパラ、ロトルア）において、マオリとの交流

- ・事後研修

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため研修会の開催を中止し、研修レポートの提出のみとした。

(イ) 青少年国際文化交流フォローアップ研修事業助成

この研修事業に参加した若者を対象に、アイヌ文化の継承者として育てていくため、「アイヌ若者委員会」が主催する行事等への参加に要する経費を助成した。

実施日	主催・題材	講 師
6月14日（金）	アイヌ若者委員会総会通知及び準備作業	
6月29日（土）	令和元年度アイヌ若者委員会総会	
9月14日（土）～15日（日）	アイヌ若者委員会 地方合宿	土屋誠一郎

### 3 アイヌ文化普及事業

#### ① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

（単位：千円）

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
5	2,500	4	1,975	4	1,859

#### ② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け（パッケージ）派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(ア) 委 嘱 313名

(イ) 派遣実績 338件 延622名

（うち学校派遣：小学校 128件、中学校 29件、高校 28件、大学 22件、養護学校 4件）

#### ③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(a) 工芸品展企画委員

(7) 企画委員名簿

役職名	氏名	摘要
委員長	五十嵐聡美	北海道立近代美術館学芸部学芸統括官
委員	池田 忍	千葉大学文学部教授
委員	北原モットウナシ	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授
委員	白鳥誠一郎	静岡市立芹沢銈介美術館副主幹学芸員
委員	杉山 享司	公益財団法人日本民藝館学芸部長
委員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐藤 幸宏	北海道立近代美術館学芸副館長
委員	石井 紗輝	北海道立近代美術館学芸部学芸企画課学芸員
委員	濱崎 礼二	宮城県美術館副館長
委員	菅野 仁美	宮城県美術館学芸員

(4) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
5月21日（火）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室	H31年度工芸品展出品資料の選定について、 図録編集方針について、今後のスケジュール について
9月10日（火）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室	R 2年度工芸品展開催要項等について、展覧 会の構成について、資料調査について、今 後のスケジュールについて

(b) 展覧会

(7) 展覧会名称

「アイヌの美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから」

(4) 資料借用先等

静岡市立芹沢銈介美術館、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、公益財団法人日本民藝館、  
北海道立文学館

(7) 道内会場

- ・会 期 11月19日（火）～1月13日（月）
- ・会 場 北海道立近代美術館（札幌市）
- ・来場者数 9,986名
- ・関連事業

区 分	内容等
オープニング・ ギャラリートーク	日 時 11月19日（火） 9：30～10：10 会 場 北海道立近代美術館 展示室 講 師 五十嵐聡美（北海道立近代美術館学芸部学芸統括官） 杉山 享司（公益財団法人日本民藝館学芸部長） 来場者数 86名

区 分	内容等
実演&トーク 「貝澤徹氏に訊く、 アイヌ木彫の技」	日 時 1月11日(土) 13:30~14:50 会 場 北海道立近代美術館 講堂 講 師 貝澤 徹(木彫家) 来場者数 201名
連続セミナー 「もっと知りたい! アイヌ文化」	日 時 1月12日(日) ①13:30~ ②14:30~ (各60分) 会 場 北海道立近代美術館 講堂 演題・講師 ①「アイヌのことばと物語」 北原モコットウナシ(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) ②「アイヌ工芸―鑑賞のポイント」 山崎 幸治(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) 来場者数 196名
トークセッション	日 時 1月13日(月・祝) 13:30~16:00 会 場 北海道立近代美術館 講堂 講 師 杉山 享司(公益財団法人日本民藝館学芸部長) 白鳥誠一郎(静岡市立芹沢銈介美術館副主幹学芸員) 来場者数 249名
学芸員による ギャラリートーク	日 時 11月30日(土), 12月 7日(土), 12月14日(土), 12月21日(土), 13:30~14:00 会 場 北海道立近代美術館 展示室 来場者数 146名

(エ) 道外会場

- ・会 期 1月25日(土) ~ 3月15日(日)
- ・会 場 宮城県美術館
- ・来場者数 7,168名
- ・関連事業

区 分	内容等
講演会 「アイヌの美 柳と 芹沢のまなざし」	日 時 1月25日(土) 14:00~15:30 会 場 宮城県美術館 講堂 講 師 五十嵐聡美(北海道立近代美術館学芸部学芸統括官) 来場者数 124名
まちなか美術講座 「アイヌの工芸」	日 時 2月 1日(日) 13:30~ 会 場 東北工業大学一番町ロビー2階 講 師 濱崎 礼二(宮城県美術館副館長) 来場者数 61名
学芸員による 展示解説	日 時 2月15日(土)、2月24日(月・祝) 14:00~ ※ 3月 7日(土) 中止 会 場 宮城県美術館 展示室 講 師 濱崎 礼二(宮城県美術館副館長) 来場者数 135名
ふれて楽しむ~ アイヌ文化 ムックリ演奏体験	日 時 3月 8日(日) ①10:00~ ②14:00~ (各回30分) 会 場 宮城県美術館 エントランスホール 講 師 早坂 ユカ(アイヌ文化伝承者) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

(c) 常設展示

アイヌ文化交流センター内展示スペース、釧路空港展示コーナー、函館空港展示コーナー、帯広空港展示コーナー、新函館北斗駅、北海道庁展示スペース、胆振振興局等に衣服、木工芸品等を展示

(d) 貸出

所蔵資料の貸出 43件

アイヌ文化学習トランクの貸出 17件

(e) アイヌ文化学習トランクの作成 5セット

(f) 現代アイヌ工芸品の展示

(7) 「GOZA -直線があやなす花ござー」 (札幌グランドホテル)

展示期間 9月1日(日)～10月15日(火)

(i) アイヌ工芸品リレー展示

共催「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」

展示期間	展示場所
～ 4月11日	Sapporo55
4月12日～5月10日	北海道銀行旭川支店
5月11日～6月9日	北海道放送(HBC)本社
6月11日～7月10日	イオン釧路昭和店
7月12日～8月21日	京王プラザホテル札幌
8月22日～9月24日	北海道中央バス小樽運河ターミナル
9月24日～10月23日	砂川ハイウェイオアシス館
10月23日～11月21日	札幌大学中央棟
11月22日～12月19日	北洋銀行函館中央店
11月22日～12月19日	五島軒本店
12月20日～1月22日	サッポロビール博物館
1月22日～2月25日	サッポロビール北海道工場
2月25日～3月23日	ホテルポールスター札幌
3月23日～	苫小牧信用金庫本店営業部

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内容	来場者数
7月20日(土) 佐賀県佐賀市 佐賀市文化会館	◇基調講演 山崎幸治 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) 「楽しく考えるアイヌ文化」 ◇口承文芸 川村久恵 ◇音楽公演 星野工、居壁太 ◇古式舞踊 平取アイヌ文化保存会 ◇紙芝居 三橋とら ◇木彫実演・体験講師 貝澤守 ◇刺繍実演・体験講師 貝澤美雪	409

8月24日（土） 北海道札幌市 かでの2・7	◇アイヌ文化賞等贈呈式 ◇口承文芸 川上容子 ◇音楽公演 阿寒口琴の会 ◇古式舞踊 アイヌルトムテ ◇紙芝居等 平取町二風谷アイヌ語教室子どもの部 ◇木彫実演・体験講師 高野繁廣 ◇刺繍実演・体験講師 間宮喜代子	521
9月7日（土） 山梨県甲府市 YCC県民文化ホール	◇基調講演 秋辺日出男（阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事） 「アイヌ文化の今と未来ー東京2020オリンピック・パラリンピックに期待してー」 ◇口承文芸 アイヌ語：高橋ひとみ 朗読：五十嵐いおり ◇音楽公演 アイヌアートプロジェクト ◇古式舞踊 白糠アイヌ文化保存会 ◇木彫実演・体験講師 高野繁廣 ◇刺繍実演・体験講師 山本みい子	380
10月19日（土） 北海道新ひだか町 新ひだか町公民館	◇基調講演 近藤修（東京大学大学院理学系研究科准教授） 「人類学からみたアイヌ文化」 ◇口承文芸 高橋ひとみ ◇音楽公演 星野工、居壁太、フンペシスターズ ◇古式舞踊 札幌ウポゴ保存会、静内民族文化保存会 ◇木彫実演・体験講師 貝澤守 ◇刺繍実演・体験講師 高野啓子	215
2月29日（土） 東京都品川区	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—

#### 4 アイヌ文化活動表彰事業

##### ① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

##### (ア) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	八重 清敏	鶴居アイヌ協会会長
副委員長	川村 則子	アトリエのんのん代表
委員	浅川 泰	前北海道立近代美術館学芸部長
委員	貝澤 竹子	(公財)アイヌ民族文化財団認定 伝統工芸家
委員	出利葉浩司	北海学園大学客員研究員
委員	日高 青志	北海道立総合研究機構ものづくり支援センター技術支援部

##### (イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
7月25日(木)	かでの2・7 110会議室及び 展示ホール	135点	委員長の互選 一次審査及び二次審査 受賞作品決定

## (ウ) 表彰式・展示

区 分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	7月29日（月）	かでの2・7展示ホール	—
展 示	7月26日（金）～29日（月）		710
巡回展示	8月 8日（木）～10日（土）	コーチャンフォー釧路文化ホール 2階展示ホール	205
巡回展示	8月30日（金）～9月 4日（水）	有楽町朝日ギャラリー	466

## (エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部 門	作品名
優秀賞	木村れい子	江別市	一 般	ルウンペ
	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	木綿衣
	桃井 芳子	釧路市	刺繍・伝統	コンチ（頭巾）
入 選	小松ひとみ	白老町	一 般	ポーチと名刺ケース
	四十榮眞弓	音更町	一 般	タペストリー
	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	衣服（木綿）
奨励賞	相澤 道子	帯広市	一 般	チヂリ（太陽と空と大地に花）
	長谷川順子	苫小牧市	一 般	タペストリーⅠ
	鈴木千鶴子	鹿部町	刺繍・伝統	カパラミプ
	平塚きぬ子	室蘭市	刺繍・伝統	礼文華幣家のルウンペ複製
	河波まさ子	札幌市	刺繍・伝統	イショーモシリ（豊かなる大地）
	加藤シヅエ	札幌市	刺繍・伝統	ルウンペタイプの着物
	吉国 幸子	白老町	一 般	ベッドスロー
門脇 賢司	札幌市	木彫・伝統	イタ（お盆）	

## ② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

## (ア) 被表彰者推薦期間

5月10日（金）～6月20日（木）

## (イ) アイヌ文化賞等被表彰者選考委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	菊地 修二	様似アイヌ協会会長
委 員	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
委 員	宇治 義之	豊浦アイヌ協会会長
委 員	大島 直行	前北海道考古学会会長
委 員	弓野 恵子	東京アイヌ協会副会長
委 員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委 員	三上 純一	むかわアイヌ協会会長

## (ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
7月 2日（火）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室	委員長の互選 アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

開催日	開催場所	摘要
8月24日（土）	かでのホール	フェスティバル（札幌会場）において実施

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	年齢	所在地	備考
文化賞	笹村 二郎	85	帯広市	
文化奨励賞 (個人)	貝澤美和子	70	平取町	
	菊池 カヨ	92	白糠町	
	草薙美壽子	81	平取町	
	澤本 幸雄	72	むかわ町	
	西田香代子	70	釧路市阿寒町	

#### Ⅳ アイヌの伝統等に関する普及啓発

##### 1 普及啓発促進事業

###### ① 広報情報発信

(a) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版 「令和元年度 アイヌ民族文化財団のあらし」	日本語版	12月	5,000	図書館、博物館、 アイヌ関係団体の ほか、主催事業への 来場者等
文化情報版 「アイヌ民族～歴史と文化」	日本語版	12月	20,000	

(b) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設している。

(ア) アクセス数 138,953件（3月31日現在 対前年比18,590件増）

(イ) 幼児向け絵本「どっち？どっち？アイヌはどっち？」（平成30年度最優秀賞受賞作品）追加

(ウ) 平成30年度作成アニメDVD「Oruspe Swop1, 2, 3」（多言語版）追加

(エ) 動画「アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol.3」追加

(オ) 動画「アイヌ生活文化再現マニュアル 踊りVI 白老・新冠編」追加

###### ② 小中学生向け副読本の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図るとともに教員を対象に研修会を開催した。

## (7) 副読本等

種 別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	8月	70,000	全国の公立小中学校（道内小4学年、中2学年児童生徒全員）、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館など
中学生用	8月	59,000	
教師用指導書	8月	38,000	

## (イ) 教員向け研修会

開催日	開催地	講 師	事例発表者	受講者数
8月19日(月)	三重県津市	蓑島 栄紀	藤戸裕子	13
8月20日(火)	東京都	蓑島 栄紀	宇佐照代	26
1月 8日(水)	旭川市	川村 久恵	渡邊 操	8
1月10日(金)	札幌市	岡田 路明	関根真紀	13
1月16日(木)	室蘭市	小坂 博宣	室蘭市立蘭北小学校	16

## ③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を表彰するとともに、絵本として刊行し、北海道内の幼稚園・保育園などに配布することで、絵本を通じて幼児期におけるアイヌの歴史や文化についての知識の普及啓発を図った。

## (7) 絵本原作募集

- ・募集期間 5月24日（金）～8月20日（火）
- ・応募点数 13点
- ・幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	乾 芳宏	元余市町立余市水産博物館館長
委 員	長田 佳宏	平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員
委 員	加藤 貴子	札幌市立あつべつきた幼稚園長
委 員	志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
委 員	早坂 ユカ	札幌アイヌ協会会員
委 員	横田由紀子	札幌大谷大学短期大学部保育科教授

## ・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘 要
9月中旬～10月中旬	11作品	審査委員に出品作品(写)を送付し在宅審査

## ・選考委員会（二次審査）

開催時期	開催場所	協議事項等
10月28日（月）	アイヌ民族文化財団 札幌会議室	二次審査対象作品の選定～二次審査 受賞作品の決定

## ・受賞作品

種 類	氏 名	作品名
最優秀賞	たばた まさる	ようかい ヤオシケブ
入選	文：太田 満 絵：藤木 やよい	ラッコのぼっこ
	森越 愛	ヒンナ ヒンナ

種 類	氏 名	作品名
奨励賞	椎谷 朋郁	ポイヤウンペとルロアイカムイ
	富田 哲司	さよならカムイ
	久下 ともこ	イランカラプテ アイヌ
	大山 貴弘	アイヌの森
	塩澤 みやび	アイヌのひみつ
	今井 啓介	エカシのはなし 木のふね と 土のふね

・絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
『ようかい ヤオシケプ』	3月	4,000	全国の図書館、北海道内の小学校、幼稚園、保育所など

#### ④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 札幌会場 (かでの2・7)

開催日	講 師	テーマ	受講者数
7月23日 (火)	佐藤 知己	アイヌ語の特色－「自分」が二つある言語	62
	清水 香	出土漆器からみるアイヌ文化の交流史	57
7月24日 (水)	小内 透	アイヌの人々の生活の歩みと意識の変容	57
	山本みい子	アイヌ文化の継承	56
7月25日 (木)	白鳥誠一郎	芹沢銈介 アイヌ文化へのまなざし	62
	八谷 麻衣	アイヌ文化と私	59
7月26日 (金)	大矢 京右	千島アイヌの強制移住とロシア語通訳	66
	右代 啓視	アイヌ文化のチャンスを考える	63
8月26日 (月)	吉本 裕子	エカシと共につむぐライフストーリー展示 －現代アイヌ文化展示の試みから－	25
8月27日 (火)	高島 孝宗	オホーツク文化の人びと －アイヌ文化以前の海洋狩猟民の世界－	29

(イ) 東京会場 (アイヌ文化交流センター)

開催日	講 師	テーマ	受講者数
8月 6日 (火)	清水 香	出土漆器からみるアイヌ文化の交流史	43
	山本みい子	アイヌ文化の継承	43
8月 7日 (水)	白鳥誠一郎	芹沢銈介 アイヌ文化へのまなざし	37
	八谷 麻衣	アイヌ文化と私	36
8月 8日 (木)	吉本 裕子	エカシと共につむぐライフストーリー展示 －現代アイヌ文化展示の試みから－	42
	高島 孝宗	オホーツク文化の人びと －アイヌ文化以前の海洋狩猟民の世界－	44

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月9日(金)	大矢 京右	千島アイヌの強制移住とロシア語通訳	42
	小内 透	アイヌの人々の生活の歩みと意識の変容	44
8月29日(木)	右代 啓視	アイヌ文化のチャンを考える	38
8月30日(金)	佐藤 知己	アイヌ語の特色ー「自分」が二つある言語ー	41

(ウ) 釧路会場 (釧路市交流プラザさいわい)

開催日	講師	テーマ	受講者数
10月5日(土)	清水 香	出土漆器からみるアイヌ文化の交流史	10
	高島 孝宗	オホーツク文化の人びと ーアイヌ文化以前の海洋狩猟民の世界ー	10

(エ) 佐賀会場 (佐賀県立生涯学習センター)

開催日	講師	テーマ	受講者数
12月22日(日)	吉本 裕子	エカシと共につむぐライフストーリー展示 ー現代アイヌ文化展示の試みからー	27
	白鳥誠一郎	芹沢銈介 アイヌ文化へのまなざし	27

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演題	講師	来場者数
7月20日(土) 佐賀県佐賀市	楽しく考えるアイヌ文化	山崎 幸治 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	409
9月7日(土) 山梨県甲府市	アイヌ文化の今と未来 ー東京2020オリンピック・パラリンピックに期待してー	秋辺日出男 阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事	380
10月19日(土) 北海道新ひだか町	人類学からみたアイヌ文化	近藤 修 東京大学大学院理学系研究科准教授	215

⑥ イランカラプテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラプテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(ア) 空港等での展示

展示期間	展示場所	主な展示品
通年	旭川空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	釧路空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	函館空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	帯広空港	アイヌ工芸品、リーフレット
通年	新函館北斗駅	アイヌ工芸品、リーフレット

## 2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

### (ア) 常設展示の実施

#### (イ) アイヌ関係図書や映像資料の閲覧

種別	購入数	寄贈数	総数	備考
図書	38	44	5,253	
映像	0	4	449	DVD 114本含む

#### (ウ) イランカラプテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講師(助手)	受講者数	受講対象者
8月22日(木)	アイヌ文化交流センター	木彫	平田 篤史	14	親子 一般
9月19日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	島田あけみ (大空ひとみ)	11	一般
10月31日(木)	アイヌ文化交流センター	舞踊	宇佐 幸将 宇佐 恵美	12	一般
11月28日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	宇佐 照代 (宇佐 智美)	18	一般
12月26日(木)	アイヌ文化交流センター	刺繍	八幡 智子 (山下とみ子)	18	一般
1月23日(木)	アイヌ文化交流センター	編物	弓野 恵子	10	一般

#### (エ) 交流センター利用者(年間)

区分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	988	△100
一般	3,400	64
合計	4,388	△36

## V 伝統的生活空間の再生

### 1 伝統的生活空間の再生事業

アイヌの伝統的生活空間(イオル)の再生をイメージして自然空間を形成し、その管理運営や自然素材の育成・利用を行い、アイヌ文化の保存、継承及び発展を図る。

#### ① 空間活用等事業・自然素材育成事業

イオルの再生や自然素材育成のための場の確保、空間を活用した普及啓発、自然素材の入手から利用までの一連の過程を行うための管理運営体制の整備を図る。

また、アイヌ文化の伝承活動に必要なにもかかわらず不足している植物の育成やオヒョウニレ等の絶対量が不足している自然素材を植樹、栽培する。

実施地域	事業内容	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の栽培生育・管理 (ポロト休養林、陣屋、森野、ヨコスト地区)</li> <li>・アイヌ文化普及啓発事業</li> <li>・白老イオル事務所(チキサニ)運営</li> </ul>	白老町 (白老モシリ)
平 取	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間の管理</li> <li>・自然素材の試験栽培・管理、活用 (丘畑、水辺空間、イオルの森)</li> <li>・チセの活用</li> <li>・ライブラリー事業</li> <li>・平取イオル事務所運営</li> </ul>	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の栽培育成・管理</li> <li>・アイヌ文化普及啓発事業</li> </ul>	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の栽培育成・管理</li> <li>・アイヌ文化普及啓発事業</li> </ul>	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の栽培育成・管理</li> <li>・アイヌ文化普及啓発事業</li> </ul>	帯広市 (トカプチアイヌ協会)
釧 路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材の栽培地造成・整備・管理</li> <li>・事業展開地園路等整備</li> <li>・アイヌ文化普及啓発</li> </ul>	釧路市 (釧路イオル共同体)

## ② 体験交流事業

イオル空間や自然素材を活用し一般の方々を対象にアイヌ文化の理解の促進と普及を図る。

実施地域	事業内容等	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山のイオル 5月18日(土)、9月17日(火)、9月25日(水)</li> <li>・海のイオル 10月5日(土)、10月12日(土)、11月30日(土)</li> <li>・川のイオル 10月24日(木)、10月25日(金)</li> <li>・アイヌ文化体験・体感交流 7月31日(水)・8月1日(木)</li> <li>・ミニ体験 4月20日(土)、6月29日(土)、7月20日(土)、 8月6日(火)、10月26日(土)・27日(日)、 11月23日(土)・24日(日)、 12月21日(土)・22日(日)、1月11日(土)、 1月25日(土)・26日(日)、2月15日(土)・16日(日)</li> <li>・出前講座 10月10日(木)、16日(水) 12月4日(水)、6日(金)、13日(金)、17日(火) 2月4日(火)</li> </ul>	白老町 (白老モシリ)

実施地域	事業内容等	委託先等
平 取	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キナアカラ(山菜採り)体験 5月11日(土)</li> <li>・サラニプテセ(袋編み)体験(全20回) 6月6日(木)～10月24日(木)</li> <li>・イチャ(穂ちぎり)、イユタ(搗き物)体験 9月21日(土)</li> <li>・イナウケ(イナウ削り)体験 9月30日(月)・10月1日(火)</li> <li>・チェプノミ体験交流事業 10月12日(土)</li> <li>・イオルの森散策・植樹体験 10月26日(土)</li> <li>・ミニ体験 11月6日(水)、12月5日(木)、12月19日(木)</li> </ul>	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ伝統料理の調理と試食体験講座 12月18日(水)、12月23日(月)、1月15日(水)、 1月19日(日)</li> <li>・アイヌの民具作り体験講座(いずれも全5回) 12月5日(木)～12月19日(木) 1月14日(火)～1月28日(火)</li> <li>・アイヌの子ども遊び体験講座 12月15日(日)、12月22日(日)</li> </ul>	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的サケ漁の再現・体験 10月17日(木)</li> <li>・自然素材栽培・収穫体験交流事業 10月24日(木)、10月29日(火)・30日(水)</li> <li>・アイヌ歴史文化講座 11月16日(土)</li> <li>・伝統的アイヌ料理の実習体験 2月14日(金)</li> </ul>	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの薬用植物を学ぶ体験事業 6月30日(日)</li> <li>・自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 8月18日(日)</li> <li>・自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 10月27日(日)～11月24日(日)(全5回)</li> <li>・アイヌの薬膳料理体験交流 12月15日(日)</li> </ul>	帯広市 (トカプチアイヌ協会)
釧 路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの伝統舞踊講座 8月10日(土)</li> <li>・アイヌ木彫り体験講座 8月10日(土)</li> <li>・アイヌの刺繍体験 8月10日(土)、2月8日(土)</li> <li>・鮭捕獲体験交流事業 10月23日(水)</li> <li>・アイヌ伝統遊び体験 12月21日(土)</li> <li>・アイヌの伝統料理実習体験事業 1月24日(金)</li> </ul>	釧路市 (釧路イオル共同体)

### ③ 伝承者育成事業

#### (ア) 既存事業

イオル空間を利用して、アイヌ文化に関する知識や技術を身につけさせる事業を実施し、人材（伝承者等）の育成を図る。

- ・受講者 2名
- ・講義日数 232日
- ・内容 アイヌ語、アイヌの歴史の講義  
植物採取及び加工、調理法及び木彫実習、道内研修の実施

#### (イ) 調査事業

令和2年度から新たな形式での拡充を視野に道内各地において事業実施の可能性や育成体制についての調査及び平取地域におけるモデル講座の実施。

### ④ 連携促進事業

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材の育成などを図る。

#### (ア) ネットワークの形成等

- ネットワーク会議の開催 2月6日(木) 北海道水産ビル
- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

## 2 伝統的生活空間（イオル）の再生事業関連事業（再掲）

上級講座		p. 7参照
文化フェスティバル		p. 16参照

## VI 民族共生象徴空間運営事業

### I 民族共生象徴空間運営事業

#### 1 民族共生公園等開業準備業務

##### (1) 目的

ウポポイの開業に向けて、国土交通省からの業務委託により、伝統芸能上演プログラムや体験交流プログラムの運営準備の他、各施設の設備・機能の検討、広報・誘客促進など、民族共生象徴空間の管理運営に必要な準備業務を実施した。

##### (2) 事業内容

###### ① 伝統芸能上演プログラムの運営準備

<上演プログラムの運営企画>

体験交流ホールにおける2種類の伝統芸能上演プログラムを企画し、伝統的な舞踊、歌、楽器演奏等の上演に備えたトレーニングを行った。

#### <プログラム映像作成>

伝統芸能上演プログラム演出において必要な映像を作成した。制作には最新の映像技術を活用し、アイヌの世界観や自然観を体感できるものとした。

#### <体験交流ホールの運営企画>

体験交流ホールにおける映像・音響及び照明機材について、演目の演出に応じた操作準備を行った。

### ② 体験交流プログラムの運営準備

#### <プログラムの運営企画>

国立民族共生公園内における体験交流プログラムを企画し、シナリオに基づく、リハーサルを行った。また、プログラムの提供に向けた必要な物品や材料等を調達した。

- ・ムックリ演奏及び製作体験、アイヌ料理実食及び調理体験、キッズプログラム（体験学習館）
- ・アイヌ文様刺繍体験、アイヌ文様木彫体験、伝統工芸実演見学（工房）
- ・伝統儀礼公開、民族衣装着用体験、生業用具製作体験（伝統的コタン）等

#### <伝統的チセの建築>

伝統的チセの構造等について来場者にわかりやすく説明することを目的として、伝統的コタンゾーンに伝統的な工法に基づくチセ1棟を建築した。

#### <夜間プログラムの運営企画>

主に夜間開園時に、アイヌ文化に関連するエンターテインメント性のあるプログラムを提供することを検討し、プログラムにおいて必要な映像を作成した。

### ③ 各施設等の設備・機能の検討、維持管理の実施

#### <来場者に対する園内サービスの提供の検討>

- ・入場券等の販売に伴うキャッシュレス決済等に係る業務計画の策定及び業務に必要な物品、サービス等の調達
- ・前売券販売の開始
- ・デジタルサイネージ及びナビゲーションアプリなどの導入、園内情報案内の実施に係る検討
- ・AI翻訳機の導入による園内における多言語対応環境の整備、無料Wi-Fiの整備
- ・休憩スペース等の設置

#### <来場者の安全確保等の検討>

- ・防火・防災等危機管理計画の策定及び防災訓練の実施
- ・災害備蓄品の確保
- ・施設使用・貸与ルールの策定
- ・柵、監視カメラの設置等によるポロト湖落下防止対策の実施
- ・交通渋滞対策の検討

#### <施設維持管理の実施>

国立民族共生公園、慰霊施設及び管理運営施設の管理方法について検討し、完成した施設の引渡し以降においては、建物・設備管理業務、清掃業務等を実施した。

④ 広報及び誘客促進等

目標年間来場者数100万人の達成に向け、ウポポイの認知度向上及び誘客促進を目的とした広報、誘客活動等を実施した。

- ・ウポポイホームページのリニューアルの実施
- ・SNSを使った情報発信
- ・ロゴ、キャラクター（トゥレップオン）の活用
- ・各種イベントへの参加
- ・JR副駅名称の設置、JR快速エアポート車両ラッピングの実施
- ・旅行会社との観光券契約による団体客の確保
- ・学校教育機関への働きかけ
- ・旅行商品造成の依頼

## 2 国立アイヌ民族博物館管理運営準備業務

### (1) 目的

国立アイヌ民族博物館の開館に向けて、文化庁からの業務委託により、調査研究事業の企画、展示の企画、資料の調査、教育普及事業の準備など、博物館の管理運営に必要な準備業務を実施した。

### (2) 事業内容

#### ① 調査研究・交流に関する業務

<博物館等とのネットワークの構築>

国内外の博物館、研究機関、伝承活動を行う団体等とネットワークを構築し、その一環として巡回展示を実施した。

<集会における成果の公表>

京都で開催されたICOM大会にブースを出展し、これまでの調査研究成果の一部を報告した。

<特別・テーマ展示の検討>

アイヌ文化等に関する特別・テーマ展示の企画及び検討を行うとともに、開館記念特別展等の開催に向けた準備を行った。

<冊子の刊行>

研究報告書、目録などの出版刊行に関することの調査、検討を行うとともに、ガイドブック、ニュースレター等を作成した。

#### ② 展示企画に関する業務

<展示替え等の検討>

展示替えの計画を立案し、解説文及びサイングラフィック作成の調整、展示資料の構成及び借用等を実施した。

<音声ガイドシステム機器の維持管理>

展示解説に関わる音声ガイドシステム機器の維持管理及び内容の更新、携帯アプリ等必要な機器等の製作及び配信の準備を行った。

<複製品等の企画>

展示資料として使用する複製及び再現された備品に係る企画を行い、アイヌ文化伝承者及び事業者から納入を受け文化庁に納品した。

<アイヌ語表記に関する検討会等の設置、運営>

博物館におけるアイヌ語表記に関する検討会を設置、運営し博物館のアイヌ語表記を完成させた。

### ③ 資料に関する業務

#### <資料の整備及び保管・保存>

資料の整備（クリーニング、生物処理、燻蒸、修復・復元等）及び保管・保管に係る計画を作成し、実施した。

#### <什器等の整備>

必要な什器類（収蔵棚等）の使用を検討し、導入した。

#### <機器の整備>

資料の管理及び調査分析に必要な機材の選定を行い、導入するとともに、その維持管理や運用計画を策定した。

#### <収蔵庫及び展示室の環境整備>

収蔵庫及び展示室等の環境整備（I P M、燻蒸を含む）等を計画し、博物館へ資料の搬入を行った。

### ④ 教育普及及び広報に関する業務

#### <講座、研修等の企画>

館内外で実施する講演、ギャラリートーク、出前講座等の企画・計画・準備を行った。

#### <学校教育・社会教育の企画>

学習プログラム、トランクミュージアムなどの学校教育や社会教育に資する企画、計画、準備を行った。

#### <広報活動>

博物館に関する広報活動（広報媒体の製作を含む）を企画するとともに、ホームページを開設し、その運用及び維持更新を行った。

#### <アイヌの人たちに対する文化伝承等>

アイヌの人たちに対する専門プログラムや博物館を利用した文化伝承、伝承者育成のための企画・実施体制の検討と準備を行った。

#### <ライブラリ>

ライブラリに置く図書・文献等の選定・購入、図書管理システムの仕様の検討を行い、導入及びシステムを構築した。

### ⑤ 施設管理に関する業務

#### <施設の維持管理>

施設維持管理（施設設備管理、警備、清掃など）についての計画、実施体制の検討を行うとともに、引き渡しを受けた後は実際に維持管理を実施した。

#### <来館者への対応>

来館者への対応業務（受付、案内、機器貸出など）についての計画、実施体制などの検討を行った。

#### <他館の諸規定等の調査>

管理運営に係る他の博物館等の諸規程・規則等を調査し、当博物館の諸規程等についての検討を行った。

## 3 アイヌ語アーカイブ事業

### (1) 目的

文化庁からの委託により、アイヌ語音声資料を活用して、アイヌ語学習にも利用できるようにアーカイブの作成を行うとともに人材の育成を行った。

## (2) 事業内容

- ① アイヌ語のアーカイブ作成事業
  - ・アイヌ語音声のアーカイブ作成
  - ・聞取調査音声資料のアーカイブ作成
- ② アイヌ語のアーカイブ作成推進のための人材育成事業
  - ・システム機能の追加
  - ・企画運営会議の開催
  - ・教材の作成と配信
  - ・スクーリング（アイヌ語合宿）の開催

## Ⅶ その他

### ○ 助成事業関係

令和2年度の助成申請に向け助成事業案内を作成、配付するとともに、地域に出向き説明会を開催した。

資料名	作成時期	作成数	配付先
助成事業案内令和2年度版	12月	180部	北海道アイヌ協会、各アイヌ協会、アイヌ関係団体、道内博物館ほか

### ・事業説明会

開催地	開催時期	説明者
八雲、帯広、新ひだか、登別、札幌、釧路、旭川、網走、東京	1月～2月	財団職員

## 第4 賛助会員の状況

区分	入会者数	退会者数	継続数	備考
個人会員	7	0	75	アイヌ文化普及啓発資料として、カレンダーを作成
法人会員	0	0	6	
合計	7	0	81	

## 第5 事業報告の附属説明調書

該当なし